

# 会報 京都マイコン研究会

第72号

(通算89号)

1993年7月1日 発行

発行人 圓口佳昭

## トピックス or ニュース

### 第20回

### パーソナルコンピュータ利用技術認定試験

「パソコン認定試験」が実施されます。京滋地区の京都試験会場の監督を京都マイコン研究会が会場の試験官として、次世代を担う人の一顧をお願いいたします。

会場：社会教育総合センター

中京区丸太町七本松

tel 802-3041

第3・第6 会議室

(3階)(5階)

日時：7月18日(日)曜日(試験時間10:00分)

集合時間当日8:30分に会場に必着

## 会告 !!

### 1. 6月5日 (PM.6:30) 例会報告

場所 大山崎ふるさとセンター

6月例会参加氏名若

林、中西洋一、若井、岩井、河原、増田、

圓口、溝口

の8名でした

6:30~7:00 マイコンサロン

7:00~8:30 MS-Visual Basic

8:30~9:00 質問その他

### ★ 次回例会

開催日 7月3日(土)

場所 大山崎ふるさとセンター

開催時間 PM.6:30~

## 『あまのこつ巻』

長い夏休みは、取れますか？

MS-Visual Basicも奥深いものがあり、ゆっくり時間をかけて取り組む事にしましょう。

「プログラミングガイド」は、500ページにも及び、英単語をそのままカタカナ文字に置き替えられた文章です。そのために学習する前に戦意が喪失します。

Visual Basic は、マイコン(自分のためのパーソナルコンピュータの活用)にするためのおもしろいおもちゃです。みなさん楽しく学んでいきましょう。

気長く付き合ってください。

(圓口)

## 1993年度 合宿報告

開催日 6月19日~20日(2日間)

参加者 11名

若林・小寺・圓口・中西秀

中西洋・若井・岩井・河原

中辻・増田

三代(関西テレビ、マイコンクラブ)

課題 MS- Visual Basic

パソコンリテラシ・6月号を読んで

今回の「ソフトウェア特集」記事は、我々、アマチュア・プログラマにも興味ある内容であった。

C言語の特長、弱点など短い解説であったが、コンパイルを実行する前の心得にすべき記事であった。

ANSI C (米国標準規格 C言語) と各社のCコンパイラの適合状況を研究した方はレディでしょうか (著者: 今井 明美氏)。卒論テーマとのことですが、この分野では同類のテーマは多いのでしょうかね。このような記事は、商業誌にお目にかかった事がないので、新鮮な記事に映った。

(Tomoppy)

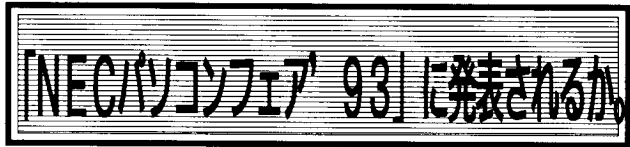
米国: PC WORLD 6月号から

特集「486 PCs for \$1000」の記事から、次のようなハード性能が、\$1000 (日本円換算: 約11万円) から、\$1500の価格であることを紹介する。

- CPU : 486 但し、セカンドソースが多い
- クロック : 25 ~ 40MHz
- メモリ容量 : 標準搭載 2 ~ 4MB
- ハードディスク容量 : 80 ~ 280MB
- カラーモニター : 14インチ

これらのハードには、高解像ボードやサウンドボードを付けないと、日電PC9821と同じ構成とならないが、それでも米国の互換機は安い。この中には、IBMは、顔を出していない。日本の店頭でみるGATEWAYや通販のDELLなども紹介されている。

(Tomoppy)



日経MI Xからの転載。

pc9800/2main 8773番, kuni. hi から, 460 文字,  
Fri Jun 11 12:27:09 1993  
このメッセージへのコメントがあります。

-----  
標題: 98 7月の新機種

- PC-9801Pen (ペンパソコン)
  - PC-9821At Pentium(33MHz)
  - PC-9821NA/C i486SX(J)(20MHz)
  - PC-9821NAT/C i486DX(33MHz)
- 他, 周辺機器など。

ペンパソコンの型番は適当です。  
AtのPentium(33MHz)とあるのはどうもODPらしいとの事。


i486DX2ピンコンパチで頭はPentium。それと、Atはメモリー最大80MBまで登載出来る様になるとの事。カラーノートは型番からも判るように、640\*480対応でWindowsを意識しているみたいです。AtはMATE最上位機種となります。

kuni. hi / SSS

**編 集 後 記**

何かが変わる?  
前月号で会報のスタイルが変わり、更に、今月号ではA4判見開き4頁立てになりました。  
例会で学習した事を毎号記載する事は大変ですが、復習やマニュアルとして、皆さんの一考になれば編集者(Tomoppy)もマンソクでしょう。  
会や会報は、わたし達一人一人が参加して創るものなのです。皆さん、参加してみませんか。  
すべてがいそがしい中であって、一息の涼ともいえる会。

(N.M)


 第一回

## MS Visual Basic プログラミング入門

TVモニターをプロジェクターを用いて勉強会が、逢萊山荘で「関西テレビ・パソコン研究会」と合同の勉強会が開かれた。講師は園口会長の熱弁と増田さん提供のPC互換機マシン2台による Visual な環境で熱心に講義と実習が行われた。

当日のプログラミング内容は、マイクロソフト社の「プログラミングガイド」から行われた。そのリストを下記に掲載します。

\*\*\*\*\*

ファイル名: TEXT01.TXT

\*\*\*\*\*

```
Sub Command1_Click ()
    Text1.Text = "Hello world!"           ;新しく追加。
End Sub
```

```
Sub Command2_Click ()
    Text1.Text = "                       " ;新しく追加。
End Sub
```

```
Sub Form_Load ()
    Command1.Caption = "OK"              ;新しく追加。
    Command1.FontBold = True
    Command2.Caption = "Del"
    Command2.FontBold = True
End Sub
```

\*\*\*\*\*

ファイル名: PICVIEW.TXT

\*\*\*\*\*

```
'
' Copyright (C) 1987-1993 Microsoft Corporation
' オフィシャルユーザーとして所定の手続きを完了された方であれば、
' このプログラムを自由に編集、修正、再配布することができます。
' ただし、これらのプログラム、もしくは、これらをもとにして作成された
' アプリケーションの運用の結果に関して、マイクロソフト株式会社は一切
' の責任を負いませんのでご了承下さい。
```

' このプログラムは、Visual Basic のファイル システムについて説明しています。

```
Sub Command1_Click ()
    End
End Sub
```

```
Sub Dir1_Change ()
' ディレクトリを変更し、ファイルのコントロールのパスを更新します。
    File1.Path = Dir1.Path
End Sub
```

```
Sub Drive1_Change ()
' ドライブを変更したら、ディレクトリ コントロールを更新します。
' (これは同様にディレクトリ コントロールに Change イベントをもたらします)。
    Dir1.Path = Drive1.Drive
End Sub
```

```
Sub File1_DblClick ()
' ルートレベルの(例 C:¥) パス プロパティの最後の文字が円記号(¥)に
' なります。別のレベルを見た時、最後に ¥ はありません。
' このコード処理は、どちらの場合も完全なパスと選択したファイルの
' 名称を作成します。
    If Right(File1.Path, 1) <> "¥" Then
```

```

' ルート レベル以外の場合(¥)を追加
label1.Caption = File1.Path & "¥" & File1.FileName
Else
' ルート レベルの場合
label1.Caption = File1.Path & File1.FileName
End If
' 選択したピクチャー ファイルをロードします。
Form1.open.Picture = LoadPicture(label1.Caption)
End Sub

```

```

Sub Form_Load ()
' コントロールを動かすためにドライブとパスをセットします。
' このディレクトリにアプリケーションの位置を決定します。
Drive1.Drive = App.Path
Dir1.Path = App.Path
End Sub

```

\*\*\*\*\*

ファイル名 : BUTTERF.TXT

\*\*\*\*\*

```

' -----
' Copyright (C) 1987-1993 Microsoft Corporation
'
' オフィシャルユーザーとして所定の手続きを完了された方であれば、
' このプログラムを自由に編集、修正、再配布することができます。
' ただし、これらのプログラム、もしくは、これらをもとにして作成された
' アプリケーションの運用の結果に関して、マイクロソフト株式会社は一切
' の責任を負いませんのでご了承下さい。
' -----
' このプログラムは、Visual Basic のイメージ コントロールについて説明しています。

```

```

Sub Command1_Click ()
End
End Sub

```

```

Sub Form_Load ()
command1.Move 10, 10
End Sub

```

```

Sub Timer1_Timer ()
Static PickBmp As Integer
If Main.Left > Form1.ScaleWidth Then Main.Move 0
If Main.Top < 0 Then Main.Move Main.Left, Form1.ScaleHeight
' 蝶のピクチャーを移動します。
Main.Move Main.Left + 20, Main.Top - 5
If PickBmp Then
' 羽を開いた蝶のピクチャーを表示します。
Main.Picture = OpenWings.Picture
Else
' 羽を閉じた蝶のピクチャーを表示します。
Main.Picture = CloseWings.Picture
End If
' 表示状態を反転します。
PickBmp = Not PickBmp
End Sub

```

\*\*\*\*\*

上記のリストをDOS版のIDE「イタ」やWinの「MEM帳」のアプリケーションを使って入力し、テキストファイルを作成して Visual Basic へ取り込んで実行して復習下さい。皆さんの感想をお待ちします。

文責：河原友三郎

